



黒川中 学力向上だより

教育目標 「自ら学び 鍛え合おう 心豊かに たくましく」
目指す生徒像 「ふるさとを愛し、正しい心を持ち、主体的に行動する生徒」

胎内市立黒川中学校 Tel 0254-47-2425 令和5年度 令和6年2月5日発行

黒川中学校では、自分の考えを正しい語で記述できるようになるという小中共通の課題を克服するために、また正解のない問題にあきらめずに取り組めるようになるために、各教科でもベースとなる日本語の読む力、書く力を鍛えたいと考えています。そのために毎週木曜日の基礎学力テストの順番のひとつに組み込んで「表現の時間」を実施しています。

君たちはどう生きるか ～表現の時間～ タイトル お互いを理解する大切さ 私たちは、みんなが言っていることが「普通」で「正しいこと」と考えがちだと思います。よく言えば協調性があり、悪く言えば自分の考えがない。または、他人の意見に同調しているともいえると思います。私は以前、自分たちへの批判を「普通にみんなが言ってるよ」と言われて、ショックだったことがあります。自分の意見を押し通したり、批判したりしたい時に、「みんなが言っている」という言葉を用いて、自分の考えを正当化するのだと思います。育った環境も経験も違うので、考え方や価値観が異なるのは当たり前です。それらがぶつかった時、一方的な価値観や自分の考えを押し付けて、「普通」に取り込もうとするのではなく、いろんな考えの人と触れ合うことで、自分の考えを高めていくことが大切ではないでしょうか。どれが正しいということではなく、お互いを理解することです。私は言葉の使い方に注意し、コミュニケーションを積極的にとっていきたいです。 8月19日 新潟日報「窓」欄 新潟市西区 古俣 千乃(15) 中学生	段落構成は二段落構成とし、第一段落では記事を読んで感じ取ったことを書き、第二段落では「お互いを理解するには」についての自分の考えを書くことを課しました。
	段落構成は二段落構成とし、第一段落では記事を読んで感じ取ったことを書き、第二段落では「お互いを理解するには」についての自分の考えを書くことを課しました。
	段落構成は二段落構成とし、第一段落では記事を読んで感じ取ったことを書き、第二段落では「お互いを理解するには」についての自分の考えを書くことを課しました。
	段落構成は二段落構成とし、第一段落では記事を読んで感じ取ったことを書き、第二段落では「お互いを理解するには」についての自分の考えを書くことを課しました。
	段落構成は二段落構成とし、第一段落では記事を読んで感じ取ったことを書き、第二段落では「お互いを理解するには」についての自分の考えを書くことを課しました。
	段落構成は二段落構成とし、第一段落では記事を読んで感じ取ったことを書き、第二段落では「お互いを理解するには」についての自分の考えを書くことを課しました。
	段落構成は二段落構成とし、第一段落では記事を読んで感じ取ったことを書き、第二段落では「お互いを理解するには」についての自分の考えを書くことを課しました。
	段落構成は二段落構成とし、第一段落では記事を読んで感じ取ったことを書き、第二段落では「お互いを理解するには」についての自分の考えを書くことを課しました。
	段落構成は二段落構成とし、第一段落では記事を読んで感じ取ったことを書き、第二段落では「お互いを理解するには」についての自分の考えを書くことを課しました。
	段落構成は二段落構成とし、第一段落では記事を読んで感じ取ったことを書き、第二段落では「お互いを理解するには」についての自分の考えを書くことを課しました。

↑ワークシートは縦書きで、原稿用紙の使い方や漢字や言葉遣いに気を付けて書きます。

1月11日に実施した「表現」課題

段落構成は二段落構成とし、第一段落では記事を読んで感じ取ったことを書き、第二段落では「お互いを理解するには」についての自分の考えを書くことを課しました。

新聞記事のタイトル お互いを理解する大切さ

私たちは、みんなが言っていることが「普通」で「正しいこと」と考えがちだと思います。よく言えば協調性があり、悪く言えば自分の考えがない。または、他人の意見に同調しているともいえると思います。私は以前、自分たちへの批判を「普通にみんなが言ってるよ」と言われて、ショックだったことがあります。自分の意見を押し通したり、批判したりしたい時に、「みんなが言っている」という言葉を用いて、自分の考えを正当化するのだと思います。育った環境も経験も違うので、考え方や価値観が異なるのは当たり前です。それらがぶつかった時、一方的な価値観や自分の考えを押し付けて、「普通」に取り込もうとするのではなく、いろんな考えの人と触れ合うことで、自分の考えを高めていくことが大切ではないでしょうか。どれが正しいということではなく、お互いを理解することです。私は言葉の使い方に注意し、コミュニケーションを積極的にとっていきたいです。

8月19日 新潟日報「窓」欄 新潟市西区 古俣 千乃(15) 中学生

生徒の考えを紹介します

1 年 1 組 小池 千裕

みんなが言っていることや、自分が言っていることに対して、考え方や価値観が異なることが自分の周りでもよくありました。この文章には自分も同感することができました。価値観が異なっても、友達関係などを壊さないようにして生きていきたいと思いました。

お互いを理解するには、お互いの意見や、価値観を批判しないことです。お互いの価値観を尊重し、価値観を壊さないというのがお互いを理解する方法なのではないかと思います。

1 年 1 組 岡田 一花

私はこの記事を読んで、確かにそうだと実感しました。私も実際に他の人の意見にひっぱられ自分の意見を変えてしまうことがあります。自分の意見に対し自信をなくして、みんなが言っていることが正しいと思えてくるからです。

しかし、お互いを理解するには、意見が同じではいけません。お互いの意見が違うとき、それぞれの考え方や価値観の違いをみとめ合い、相手の意見を通して、自分の考え方をよりよくしていくことが大切だと思いました。

2 年 1 組 榎本 結愛

自然と言ってしまう「みんなが言っている」。どうして言うんだろうと思っていましたが、そういうことなのだと記事を見て納得しました。みんなが言っているからといってそれを普通、正しいと思ってはいけないと分かりました。

「お互いを理解するには」自分が全て正しいと思わないことや、どうしてそのような考えになったのかと、相手の立場で考えてみることだと思います。そうすることで自分の意見も客観的に捉えられ、理解が深まりやすいと思います。

2 年 1 組 山口 大頼

僕はとても共感しました。育った環境や経験、異なる考え、価値観があるのは当然のことであり、当たり前。それは、いつでもどこでも同じ。お互いを理解することが大事だと僕も思います。

お互いを理解するには積極的な対話が必要だと思います。こわそうな人、苦手な人、きつーと思いますますが、対話をすることによって「こういう人なのか。」「～が好きなのか。」など考えを深められると思います。

3 年 1 組 桐生さくら

この記事を読んで、私も人が多いほうに何となく流されることがあるので、共感しました。皆が言っていることは、自分の意見ではないので、人にあわせすぎると、いつしか判断力のない人間になってしまうと思います。私も気を付けたいです。

お互いを理解するためには、「普通」という考え方を取り払ったほうが良いと思います。理由は「普通」という勝手な壁を自分で作り、無意識に人を区別しているからです。自分を守る壁は、相手をも通さなくしてしまうと思います。

3 年 1 組 山崎 美羽

私は、一人ひとり考え方も違えば価値観も違うということがこの記事を読んでよく伝わったし、私自身、自分の考えを高めていくことができていないとも思いました。

私はお互いを理解するには、相手のことを知り、自分のことを知ってもらう関係が大切だと思います。また、相手は自分のことに興味を持ったり持たれたりする関係が重要なのではないかと思います。